

令和7年度

2026.3.24

くずまきDMO報告会

まちなか賑わい創出部会



目次

01. まちなかエリアリノベーション

02. 起業家育成支援事業 「月3万円のわたしごと」講座

01. まちなかワークショップ

わたしが楽しいと まちも良くなる

ジブンゴトのまち暮らしワークショップ

旧遠藤邸を中心としたまちなかエリアを舞台に
「あったらいいな」を叶えたいワークショップ。
面白いと思うことを誰でも実現できる場づくり。

[参加者]

葛巻高校3年生

地域おこし協力隊

地域の若者、大人の皆さま

高校生、若者、大人をかき混ぜてグルーピング



第1回目 企画づくり



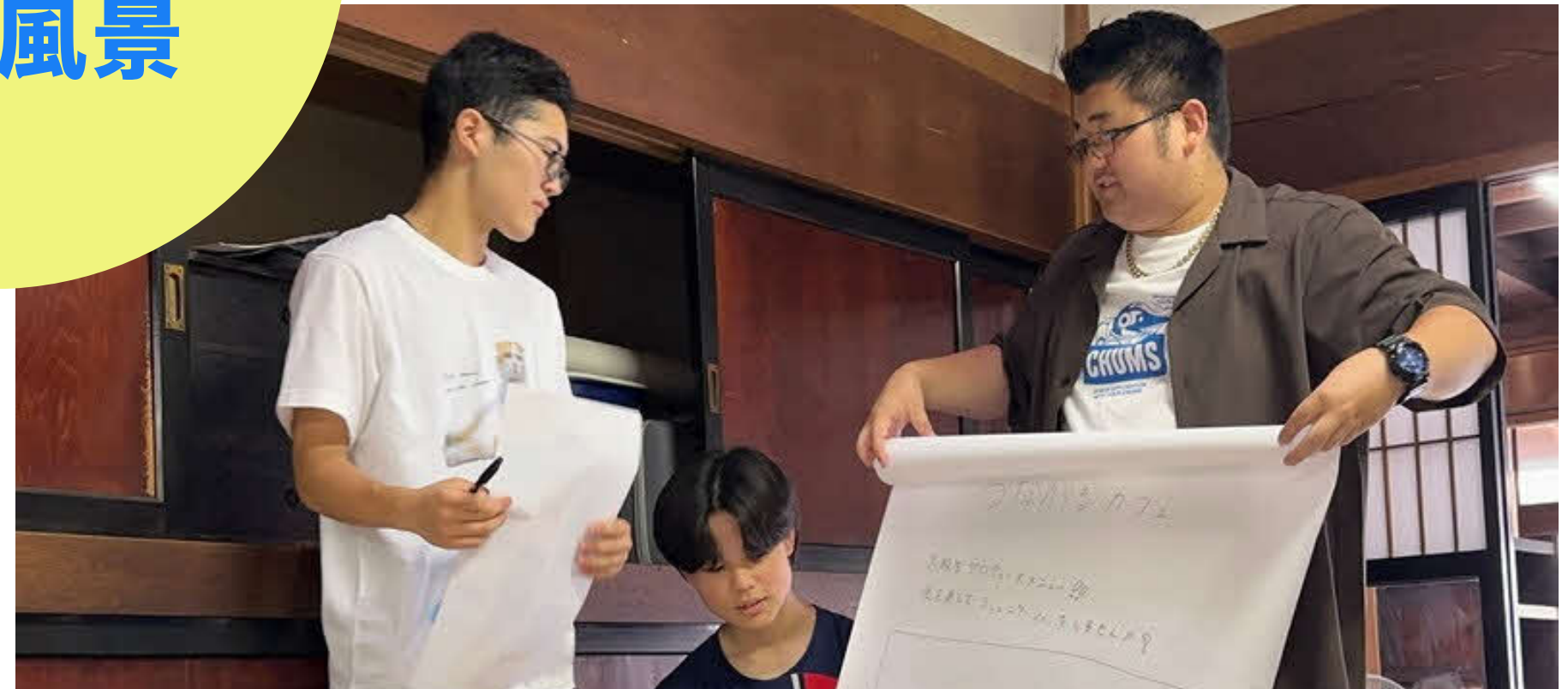
第1回目 企画のプレゼン、選出

ワークショップ

開催風景



第2回目 内容決め



第2回目 企画内容をみんなで練り上げる

企画イベント

高校生・移住者とつながるカフェ

美味しいご飯と楽しい会話で食ニケーション(食+コミュニケーション)を体験してみませんか?
メニューは高校生がプロデュース!! 子供から大人まで大歓迎!
食を通じて、気軽に新しい人と繋がるチャンスをお届けします!

8月31日(日)11時~14時
Cafeやどり木

第1回 11時~11時45分:15人
第2回 11時45分~12時30分:15人
第3回 12時30分~13時15分:15人
第4回 13時15分~14時:15人

500円

手まり寿司やからあげ、サラダなど大人も子どもも楽しめる料理をワンプレートにまとめて提供します!
当日お楽しみのデザートやサービスも...?

★このイベントは、「くずまきDMOまちなか賑わい創出部会」の一環で実施されます。

【食ニケーションチーム】
主催 上川原匠哉・上原徳之助・遠藤朝陽・栗村脩斗
村田悠一朗・川口美由樹・高橋樹白・脇澤寿也

お問い合わせ
○葛巻町役場・いらっしやい葛巻推進課
電話→0195-65-8983(直通/担当:吉澤)
メール→kuzumaki101@town.kuzumaki.lg.jp

○事業受託者 (株)やどり木
メール→snowpen513@gmail.com

高校生・移住者とつながるカフェ

高校生×移住者（協力隊）が町民をおもてなししながら町民と繋がって自分たちのこと、思いを知ってもらおうとする会。

キーワードをさがせ 館からの大脱出

大人も子どもも楽しめる
今流行りの“謎解きゲーム”を葛巻でやってみよう!

君はできるか、
謎を解いて脱出を果たせ。

8月31日(日) 第1部 10:00~12:00
第2部 13:00~15:00

旧遠藤邸 所要時間:30分 参加費:無料
参加人数:一組2人

★このイベントは、「くずまき DMO まちなか賑わい創出部会」の一環で実施されます。

【主催】「脱出ゲーム実行委員会」 鈴木 琴葉、松長根 誠大、南館 玄、吉澤 浩太、中澤 美羽、加藤 美季
【問い合わせ先】 〇葛巻町役場・いらっしやい葛巻推進課 TEL:0195-65-8983 (直通/担当:吉澤)
e-mail: kuzumaki1011@town.kuzumaki.lg.jp

〇事業受託者 (株)やどり木 e-mail: snowpen513@gmail.com

館からの脱出

建物の古さや薄暗さを生かして舞台にした「脱出ゲーム」

(日遠藤邸) でんと~つなぐ祭り

日本や葛巻の伝統に出会う始まりの日。
芸能をみて、きいて、体験できちゃう!?
でんと~からつながる くずまきのわ

2025年10月26日(日) 15:00

当日の出し物
*喫茶コーナー
お菓子とお茶無料!
*でんと~体験会
三味線や民謡の歌の
体験が出来よう!

タイムスケジュール
13:00 開場
13:30~日本舞踊ステージ
14:00~民謡伝承会ステージ
14:20~でんと~体験会
15:00 閉場

★このイベントは、「くずまきDMOまちなか賑わい創出部会」の一環で実施されます。【主催】でんと~つなぐ祭り実行委員会
【問い合わせ先】 〇葛巻町役場・いらっしやい葛巻推進課 0195-65-8983 (直通/担当:吉澤) kuzumaki101@town.kuzumaki.lg.jp
〇事業受託者 (株)やどり木 snowpen513@gmail.com

でんと~つなぐ祭り

地域の団体を巻き込み、町民と伝統芸能を鑑賞したり、一緒に味わったり楽しむ娯楽の時間の提供。

でんと〜つなぐ祭り



- ・自分たちの好きなことを、町にいるプレイヤーさんと一緒に形にして、町の人たちと楽しんだイベント。
- ・メンバーによる日本舞踊のお披露目と、町の民謡伝承会のみなさんのご協力でステージ。
- ・メンバーの声掛けなどで、町の芸能好きな方々がたくさん来場。遠藤邸が狭かった。
- ・娯楽の場づくりを通して、芸能はとても喜ばれるものだとわかる。定期的にまたやれたら、と。
- ・もっとうしたかった、という振り返り。こういうイベントが日常叶えやすい環境づくり、ソフト体制づくりへ。

振り返って

若者が少ない町内。事業への参加者を集めることも容易ではない中、毎年面白がって率先して参加してきてくれたのが、3月卒業した葛巻を心から愛する高校3年生組でした。いつもいつも、町をポジティブに観ていて、常に盛り上げてくれてきました。卒業しても活躍を楽しみにしています。と同時に、彼らがまたこの町に戻ってきて、同じように町を楽しんで盛り上げてくれる日を、心から楽しみにしています。みんなは町の希望です☆

- ・アクションしてください、と言ってもしない、できない。新たにやりたい人を増やす、ということのある意味の限界。
- ・すでにある団体、グループが使いやすい場づくりから、さらによりよく活動してもらえるには？も大切な視点。
- ・町にいる学生と言えば高校生。高校との連携体制は、今ある総探への協力を取ることできる。しっかり高校と高校生、若者が使いやすい、集まりやすい場づくりも。

